

教育目標：なかまとともに、進んで学び、たくましく、思いやりのある子どもの育成

細野小学校
学校通信

桜の学び舎 細野小

令和3年度
第11号(1/6発行)

令和4年がスタートしました。本年も『コロナプラス』を合い言葉に、地域とともにある学校、みんな仲よく福いっぱい为学校を目指します。どうぞ宜しくお願いいたします。

人権教室（学年別・全学年）12/3

コロナ禍にある今こそ、人権教育のチャンスであると考え、今年度も人権擁護委員の皆様の御指導のもと全学年で「人権教室」を実施することができました。

学年の発達段階に応じて、具体的で印象に残る指導をしていただき、貴重な学習になりました。



低学年

紙芝居「ぐりぐら森のおばけ」: 弱い立場の動物たちが協力して、いじわるな動物たちのいじめをやめさせるお話です。



中学年

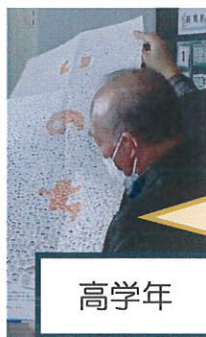
【ポッチャ】体の不自由な人も楽しめるよう、イタリアで考案されました。パラリンピックの正式種目です。



江田さん(元校長先生)による授業「命のバトン」



絵本「いのちのまつり」を通して、先祖から繋がる命について考えました。20代前から今まで、約105万人の「ご先祖様」とつながっています。



高学年



今生きているのは、皆さんの先祖が、命のリレーを絶やすことなく、繋いできてくれたからです。これからも命を大切に繋ぎましょう。

中学校生活体験（6年）12/14・15

今回は、生活体験プログラムに中学2年生との哲学対話を取り入れていただきました。



全校朝会（令和4年初）1/6

夢を現実化する方法について、大谷選手の事例を紹介しました。大谷選手のすごさは、野球技術の向上だけでなく、『運』『人間性』を高めるための方策を高1の時から考えていたことです。だから世界中の人々から応援される選手に成長したのでしょう。細野っ子も頑張りますので、期待してください。そして応援してください。

